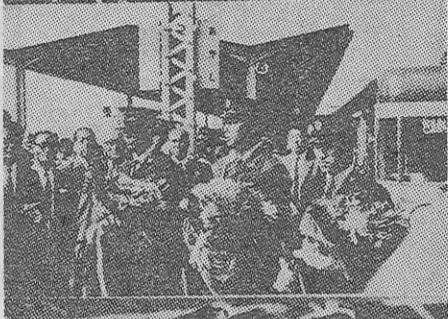


思い出の写真

東海三県中学校専用の「1号」として39年4月に誕生



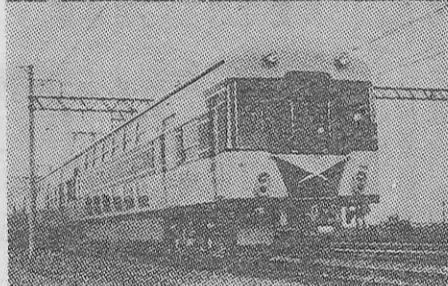
「わかば号」は近畿中学校用として40年10月に出発式



45年4月、東海道新幹線が足、関東地区の第一陣出発式



37年4月から近畿、東海三県用「あおぞら号」は伊勢方面へ



教育振興に成果

参議院議員 内藤 誉三郎



内藤 誉三郎氏

財団法人・全国修学旅行研究協会創立二十五周年を心から祝ひ申しあげます。

昭和三十一年に全修協が財団法人格取得の手續をされたとき、

ははははとて「おめでとう」集い

念に、お祝いの言葉を述べざる

歩みをつけてきたことは、特筆

さらに使命の達成へ

関東・東海・近畿三地区 修学旅行連絡協議会会長 森

森

幾

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

修学旅行の理念貫く

家議院議員 原 田 憲



原田 憲氏

財団法人・全国修学旅行研究協会が、創立二十五周年を迎えられたことは、誠に同慶に尤えませ

長はじ代表の方々に、国鉄本社を訪れ、十河総裁の大阪府での話

した。正直に申しますと、私はあの時代の方が懐かしいです。

物豊かな時代、そこには従来の修学旅行様式の変化も見られ

ます。先方もご健勝で活躍を祈ります。(元運輸大臣)

本教育振興のために一層の努力と精進をされますよう祈念して祝

かかるとの健康な成長の一環として、相互協力、統合的な立場より、個々の生徒の生涯を通じて心身の修

このごときであります。

かかるとの健康な成長の一環として、相互協力、統合的な立場より、個々の生徒の生涯を通じて心身の修

かかるとの健康な成長の一環として、相互協力、統合的な立場より、個々の生徒の生涯を通じて心身の修

かかるとの健康な成長の一環として、相互協力、統合的な立場より、個々の生徒の生涯を通じて心身の修

輸送面でご協力

日本国有鉄道総裁

高木 文雄



まいりました。あわせて、学生生徒の通学・修学旅行等に対する安全輸送の確保を通

つては、貴協会をはじめ、各方面のご協力により、修学旅行専用列車の運転を始め、既に二十余年になります。

間、新幹線の営業区間の拡大と輸送力の増強に伴い、修学旅行は新幹線利用に移行しま

したし、さらに東北・上越新幹線中心の新しい修学旅行時代の幕あけを迎えることになりま

国鉄は、貴協会をはじめ教育関係諸団体の皆様のご協力を得ながら、新しい時代をになう交通機関の一環として、

修学旅行の充実のために役立つことができたなら、と念じております。

創立二十五周年を迎えられた貴協会の今後一層のご発展を祈念し、お祝いのことばをいたします。

東京湾内洋上教室 特別企画 東海汽船

首都東京を見て、何かを! 学校単位の貸切りでご利用下さい

修学旅行のお宿に全館を開放 延暦寺会館

眼下に芦の湖、ひろがる湖尻高原。箱根高原ホテル



事務局長時代の思い出

同志が集まり結成

寺田 鏡



寺田 鏡氏

「修学旅行が学生の重要な場でありながら重要視されていない。これをより教育的に効果あめらるにはどうしたらよいか」という提案が山本先生から出され、主として組合出身の都道府県教育委員が集まって研究会を創ったのがそもそもの始まりでした。年次は変わりましたが、逆算しますと昭和三十一年のことでした。私

思い出つきぬ歲月

白滝 末紀

全修協は、いま四半世紀の歴史を記し、新しい四半世紀へスタートしようとしています。わたしは昭和三十一年三月から三十二年三月まで、この第一、四半世紀の半分を過ごしてきました。上野の都立協が設立された運動がスタートしたのは昭和三十一年六月、財団

の会でした。先生もよく静岡に見えられたし私も大げなとき、先生のお宅にも伺いました。当時の提議者は日本ツーリスの時代、事務局は東京八重洲口の日本ツーリストの出張所内におりました。会との連絡は、主生がよけ口にされた同志の結成「のなせるわざ」で、他人行儀のものでなく、全く親密なもの

終って間もなく身辺多忙のため辞めさせて貰いましたが、今も全修協の発展を陰ながら祈っています。志願者の起死回生、積極的な役員会など、思い出は書きませんが、与えられた紙面の都合もありますので割愛します。

当時の同志のころ、会社の方のことなど、今なつかしく思い出しています。(創立から昭和三十一年九月まで全修協本部事務局として馬場社長の奥さんが当會長、現在、静岡県教育公務員弘済会理事長)



白滝末紀氏

車設定の事業も忘れるのでできない活動であった。国鉄本社への日参、東海三県校長会代表との会談、国鉄利用引受融資銀行の折衝など全く東奔西走の毎日が続いた。当時の十何回、国鉄総裁が伊勢湾台風被害による学生の愛の温情も大きく手伝って「まどろ号」の設定は、全修協の手がけた専用列車第一号だけに感激そのものであった。

続いての近畿地区の「わかば号」近鉄のお世話による小学生の「わかば号」関西の協力のよる修学旅行専用船「わかば丸」など、山本理事長の指導と事務局次長の中原君のよき補佐を得、つぎつぎと実現を見、全修協事業はまさに順風満帆の勢があつた。しかしおひささんの関東は東京、神奈川を除いての各県学校長の折衝であったが、まとまるまでに数年を要し、苦勞の連続であったことが今もよみがえります。

三十八年、後任に白滝氏を推し辞任したが、思えば僅か四年間で充満した時代として忘れられない。

組織づくりに専念

永井 熙

今から二十五年前、昭和三十一年九月、山本理事長が水戸までお呼び出でになり、「全修協の事務局をどうするか」といふ口説かれ、熱意にほだされて遂に承諾してしまつた。きつは事務局機能の拡大強化のため、今まで八重洲口観光会館より移転し、神保町の裏町にあった小学館別館の二階を借用し、全員四名で事業のこの組みを開始するといふので

当時はまた各県に組織がなかった。未組織の教育委員を歴訪し、支部長就任と組織作りを依頼して回つた。しかしまだ事業の実績がない時であったので、専ら将来の事業のため教育の振興だけに依り頼んでおりました。嬉しかったのはほとんどの各県の友人が

このつた各県支部長の熱情に感ず、三十二年の夏、二十二県の賛同を得、はじめて北海道研修旅行を実施したが、五千人という大団体が参加された。まさに空前の

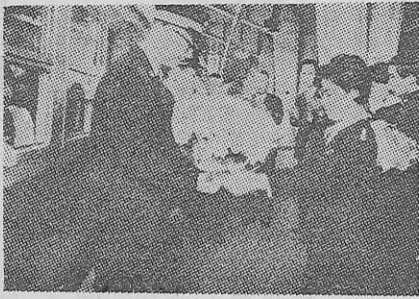
一方、児童生徒の修学旅行の教育的効果と安全性のための専用列車を設定されたことは、今迄になかった壮舉であった。この旅行を一生懸命にするため、列車の座席に板をわたし、毛布を敷いてお座敷列車とし、夜ともなれば通路にゴミを敷いてのゴミ袋の夜行サービスは大変な人気を呼んだ。このためのツーリスト職員の献身的苦勞、企画の優秀性は全参加者に大きな反響を呼び、「一研修旅行」の口碑は、一挙にして高ま

終りに二十五年前にわたる全修協事業の教育界に及ぼした偉大な功績に深い敬意を表し、今後一層の発展を祈ってやまない。(昭和三十一年九月から同三十八年三月まで本部事務局長、現在、常務理事・茨城県支部長、財団法人・日本教育公務員弘済会理事長)

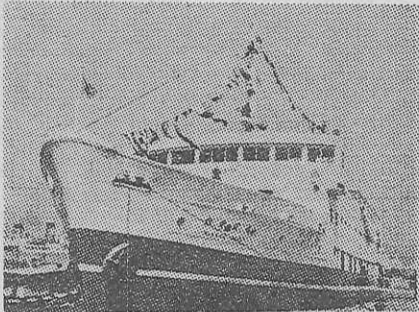


永井 熙氏

思い出の写真



40年4月、関東地区中学生のための「わかば丸」出帆式。



近畿、九州地区中学生の専用船「わかば丸」が誕生。

シンガポールとバリ島へ

全修協・春の海外旅行 本年度の全修協主催による春の海外旅行は「シンガポールとバリ島」を実施する。出発は三月二十一日、帰着は同三十一日の六日間。会費は二十八万五千円。

行程は①成田(バリ島)②デンパサール③泊(バリ島)④金細工村のチエルク、絵画・彫刻家のマヌ、ジャワ更紗のパティック村や⑤教会(ジャバ)⑥パ

リ島滞在、自由行動(バリ島)⑦シンガポール泊⑧シンガポール

滞り、市内見学、タイカイバムガーデン、マウントレーニア、マレー半島最南端ジョホールバル、回教寺院、サルタル王宮など見学、シンガポール泊⑨シンガポール発、成田空港着。なお希望者は世界最大の仏教遺跡ボロボ

57年度は18万に

関修協の新幹線利用

【関東支局】関東地区中学校修学旅行委員会(河又英一、会長)の五十七年度関西方面新幹線利用の輸送人員は六百九十九名、十七万八千三百八十八名となつた。A、B、Cの三本立てで、い

れも二泊三日、県別にみると埼玉三〇五校八九、七八七名、茨城一一二校二五、六三七名、千葉一一〇校三三、一五八名、栃木一一七校二四、七七六名、群馬四五校五、〇三〇名。期間は四月十三日から七月十日までとなっている。

旅のしおり

- 御校のコースにマッチした「しおり」が用意してあります。見本無料呈。
■北海道から九州まで、小学校から高校まで、あらゆる種別を用意。
■見学地図の裏に御校の「旅行要項」をお刷りしています。資料呈。
■修学旅行の資料ならなんでもおそろえます。ご照会ください。

修学旅行図書・資料出版 〒601 京都市南区西九条鳥居口町5 (京都駅新幹線口の南西) 株式会社 教材研究所 電話・代表075-681-1591, 2, 3, 4 振替・京都2539

動物に学ぼう。

アフリカ村もてっかく開村、残してください—思い出を。

- 営業時間 午前9時—午後5時
●冬期(12月16—15) 午前9時30分—午後4時(11/16—15)
●修学旅行料金 高校生900円、中学生600円、小学生500円



アフリカンサファリ

〒872 大分県宇佐郡安心院町 TEL(09784)8-2331(代) 東京事務所 台東区池之端1-5-2 UBCビル TEL(03)823-6765

チロル風のホテルは仲良し8人が一緒です。

集団生活の安全管理と宿泊の生徒さんの自主管理の両面から入念に設計された《スズカビレッジ》

2人で1台実物のエンジンを分解・組立てる 250名収容のテクニカルホールの生きた科学教育。 空へ、水へ、緑の中へ...自分でハンドルを握る「ゆうえんち」 国際レーシングコースを走るレーサー気分も...そして陽の落ちた広場でファイアーストームを囲んで 校歌を歌うひととき— チロル風ビレッジの一夜、翌朝伊勢湾から昇る朝日も 忘れがたいもの、どれを取っても 学生生活を刻んだキラリと光るひとコマです。



昨年一年間で11万人もの学生さんがこの思い出深い修学旅行を体験しています 「人と科学と自然の接点」 今年の修学旅行こそスズカを加えた《新近畿ルート》をご検討ください。 スズカから京・奈良・伊勢・志摩へも2時間の距離 未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。 陽気なビッグ・レジャーランド

鈴鹿サーキット 三重県鈴鹿市稲生町 電話=0593(78)1111 本社: 東京都中央区八重洲2-6-20 ☎03(274)5821 大阪営業所: 大阪府東淀川区芝田町2-1-1 ☎06(372)1526